



〈自分（たち）でつくるみんなの学校～日本一美しい学校を目指して～〉

# 成美っ子

学校だより 令和3年度No.2



## みんなでつくる運動会

校長 佐野 正人

快晴に恵まれた5月15日、児童会テーマ「一致団結 成美っ子 全力を出し切り 心に残る運動会にしよう」のもと運動会が行われました。

昨年は、予定していた5月が休校期間となり、10月の平日への延期、そして無観客での実施としました。今年度の新型コロナウイルス感染の状況も、さほど昨年と変化なく、市教育委員会や校長会との共通理解は図られましたが、安全・安心な開催について随分悩みました。

そこで、PTA役員の方々へ心配な点を相談したところ、会長を中心にわざわざ役員会を開いていただき、参観に来る家族の人数の制限や、出入りのチェックの方法、業者による撮影（DVDの販売）等について、学校側以上に深く考え、アイデアを出していただきました。そして、当日は朝早くから働いていただきました。また、ご家族の皆様には、この趣旨を十分ご理解いただき、参観のマナーを守って子どもの応援をしていただきました。本当にご協力ありがとうございました。

さて、子供たちはというと、体育の時間での疾走や遊走の練習に加え、長休み時間の代表選手によるリレーの練習、6年生が中心になっての各団ごとの応援練習に元気に取り組みました。

期間や時間が限られた中での練習は、下級生まで十分に応援方法が伝わらないであろうと、当初は6年生が頑張る（パフォーマンスを見せる）応援でしたが、予行の反省会で「一致団結とは、全力を出し切るとは何か」を教職員で確認し合いました。

次の日からです。まず、5、6年の合同練習が始まりました。6年生の大きな声に負けじと、5年生の声も大きなグラウンドに響き渡るようになりました。上学年の担任は、子供以上に気合いの入った声で指導を行っています。そして、前日に再度全学年が集まり、団ごとの練習が行われ、下級生も歌詞や振り付けをしっかりと覚え、元気な声、表情で応援を行いました。そしてその成果は、当日に一致団結したすばらしい応援として表れました。



振り返ると、先生方は、楽しめる運動会にと、オリンピックをイメージした遊走競技を考えるなどの工夫を凝らしたり、係活動の準備をしたり、養護の先生は、急遽熱中症に関するたよりを配布したりと、安全・安心で充実した運動会に向けて取り組みました。これまでの指導を通して、重点目標である、「主体的で協働的な学びと表現する力」、「粘り強く取り組む態度」、「互いを認め合い、協力する心」が高められたのではないのでしょうか。

もちろん、この運動会の主役は子供たちであり、一致団結し、全力を出し切ってくれたおかげで、心に残る運動会になったと思います。その影には、PTA役員やご家族のご協力があったからに違いありません。まさしく、「みんなで作る運動会」であったと思います。



最後に、新しい生活様式の定着が叫ばれる昨今ですが、授業時数の確保や子供の疲労面への配慮、教職員の負担軽減などから、昨年、今年のような運動会の在り方が、今後のスタンダードになっていくのではないのでしょうか。